

もも・ネクタリン特報

生育は平年よりも4日程度進んでいる状況です。園地では結実状況が判明してきました。初期肥大を促進するためにも、順次摘果作業を進めましょう。また、せん孔細菌病多発地域を中心に春型枝病斑が多く確認されています。せん孔細菌病防除は、梅雨明けまでが重要防除時期となりますので、10日以内を厳守した薬剤散布を心がけ、春型枝病斑の除去も併せて実施してください。

もも・ネクタリン共通

せん孔細菌病の発生が心配される園地では、通常展着剤に代えて固着性展着剤 KK ステッカーの3,000倍を使用する。

*KK ステッカーは調合液を攪拌させながら、最後に加用する。*KK ステッカーに代えて、アピオン E の1,000倍でもよい。

もも

2回分の防除を掲載しています

⇒他作物へ飛散しないよう十分注意してください。ももとネクタリン混植園ではネクタリン防除を実施下さい。

(せん孔細菌病対策として散布間隔10日以内を厳守する)

第5回 定期防除

散布時期：前回散布から10日以内（5月20日～25日）

散布薬剤： 水	100%	
展着剤	10ml	
ハチハチフロアブル	50ml	(前日、2回)
トレノックスフロアブル	200ml	(7日前、5回)
ベルコートフロアブル	50ml	(前日、3回)
マイコシールド	66g	(21日前、5回)

散布日	月	日
散布量		リットル

対象病害虫：せん孔細菌病、黒星病、灰星病、(うどんこ病)、モモハモグリガ、アブラムシ類

10a 当り散布量：500%

【注意事項】★★ **重要** ★★

- ①うどんこ病の発生が心配されない園地では、ベルコートフロアブルを混用しなくてもよい。
- ②(カメムシ類)の発生園は、マブリック EW の2,000倍(21日前、2回)を特別散布する。
- ③(カイガラムシ類)の発生園は、ハチハチフロアブルに代えて、コルト顆粒水和剤の2,000倍(前日、3回)を散布する。

第6回 定期防除

散布時期：第5回散布から10日以内（5月30日～6月4日）

散布薬剤： 水	100%	
展着剤	20ml	
デランフロアブル	100ml	(7日前、4回)
アルバリン顆粒水溶剤	50g	(前日、3回)
マイコシールド	66g	(21日前、5回)

散布日	月	日
散布量		リットル

対象病害虫：せん孔細菌病、黒星病、灰星病、ホモプシス腐敗病、モモハモグリガ、アブラムシ類、シンクイムシ類

10a 当り散布量：500%

【注意事項】★★ **重要** ★★

- ①せん孔細菌の発生が心配されない園地では、マイコシールドを混用しなくてもよい。
- ②アルバリン顆粒水溶剤に代えて、ダントツ水溶剤の4,000倍(7日前、3回)を散布してもよい。

裏面にはネクタリンの防除が掲載されております。必ずご覧ください

第5回 定期防除

散布時期：前回散布から10日以内（5月19日～24日）

散布薬剤： 水	100ℓ	
展着剤	10ml	
ハチハチフロアブル	50ml	（前日、2回）
トレノックスフロアブル	200ml	（30日前、5回）
マイコシールド	66g	（28日前、5回）

散布日	月	日
散布量		ℓ

対象病害虫：せん孔細菌病、黒星病、灰星病、（うどんこ病）、モモハモグリガ、アブラムシ類、シンクイムシ類

10a 当り散布量： 500ℓ

【注意事項】★★ 重要★★

- ①もも混植園で、（うどんこ病）の発生が心配される場合は、フルーツセイバーの1500倍（前日、3回）を加用する。
- ②（カイガラムシ類）の発生園は、ハチハチフロアブルに代えてコルト顆粒水和剤の2000倍（前日、3回）を使用する。

第6回 定期防除

散布時期：第5回散布から10日以内（5月29日～6月3日）

散布薬剤： 水	100ℓ	
展着剤	20ml	
デランフロアブル	100ml	（14日前、2回）
アルバリン顆粒水溶剤	50g	（前日、3回）
マイコシールド	66g	（28日前、5回）

散布日	月	日
散布量		ℓ

対象病害虫：せん孔細菌病、黒星病、灰星病、ホモプシス腐敗病、シンクイムシ類、モモハモグリガ、アブラムシ類
カメムシ類

10a 当り散布量： 500ℓ

【注意事項】★★ 重要★★

- ①せん孔細菌の発生が心配されない園地では、マイコシールドを混用しなくてもよい。
- ②アルバリン顆粒水溶剤に代えて、ダントツ水溶剤の4000倍（3日前、3回）でもよい。

◎予備摘果の実施：摘果は結実が確定してから実施してください。

表1 結果枝別着果量の目安

結果枝	予備摘果	本摘果
長果枝	2～3個	1～2個
中果枝	1～2個	0～1個
短果枝	0～1個	0～1個

（果樹指導指針より）

満開後3週間位（5月15日頃）から結実の良さそうな品種中心に摘果を始め、川中島白桃・黄金桃・ファンタジア・秀峰等は生理的落果もあるため後半に行なってください。 *表1参照

★せん孔細菌病対策について

- ⇒ 春型枝病斑（スプリングキャンカー）の切除を徹底的に行いましょう。
- ⇒ 疑わしい枯れ枝も併せて除去しましょう。

◎第1次伝染源である春型枝病斑を見つけたら切除し、園外へ運び出し処分する。

- （説明）①春型枝病斑は、4月末頃から2年枝上に現われる。
- ②春型枝病斑は、2年枝上の芽の基部を中心に現われ、黒色水浸状態で亀裂を生じヤニを発生することもある。（写真参照）



典型的な枝病斑